

# 漁海況情報第11報 (2013年3月15日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/shoshiki/mtsc/>」でも公開中です。

## 1. 海況

### 本県の142°E以東には親潮第1分枝が南下し、表面、100m深とも低めとなっている。

宮城県沿岸から沖合の表面水温は、0～10℃台となっています。平年と比較すると、暖水が波及している亘理沖の仙台湾口は0～2℃高めですが、142°E以東は親潮第1分枝が南下している影響により、1～4℃低めとなっています。100m深水温については、2～8℃台となっています。表面水温と同様に142°E以東は親潮南下の影響により、平年よりも1～3℃低めとなっています [P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

水温鉛直断面図をみると、142°10'Eから142°30'Eの表層から500mの水温が特に低くなっており、1～3℃台となっています [P2.水温鉛直断面図]。

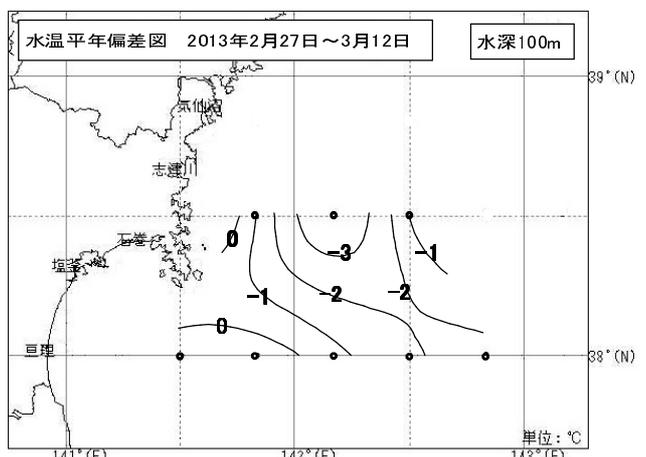
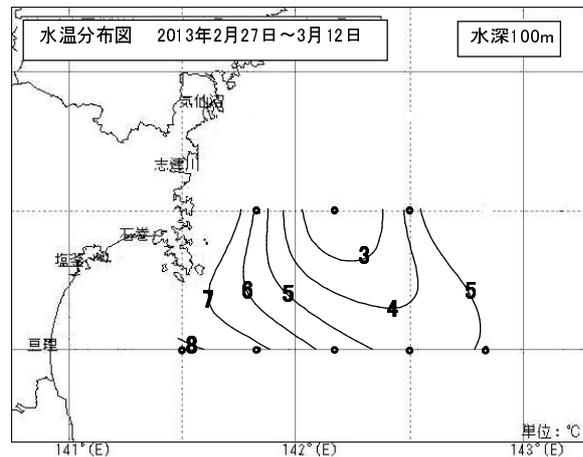
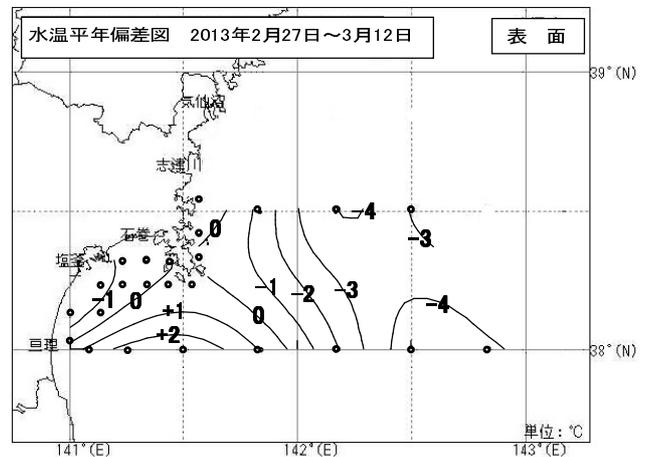
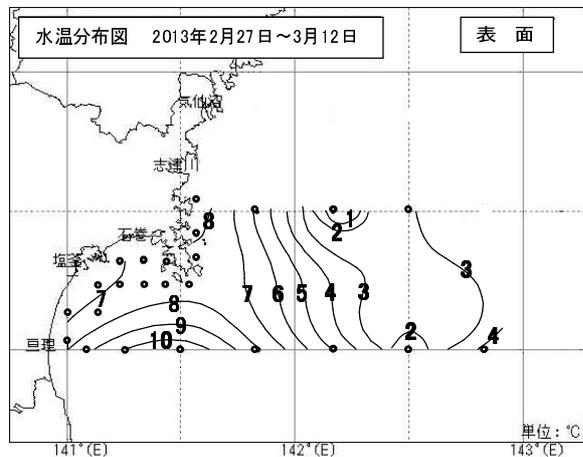
(社) 漁業情報サービスセンター配信の東北海域漁海況情報(表面水温)によると、仙台湾口には暖水が波及する一方、142°E以東では親潮が南下し、本県沖で潮境を形成しています。 [P2.東北海域の海況図：(社) 漁業情報サービスセンター]。

3月上旬の定地水温は、5～7℃台となっています。平年値との比較では、岩井崎、江島、佐須浜で平年並みとなっています [P2.定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、仙台湾内は6～8℃台となっています [P3. 海底直上水温図]。

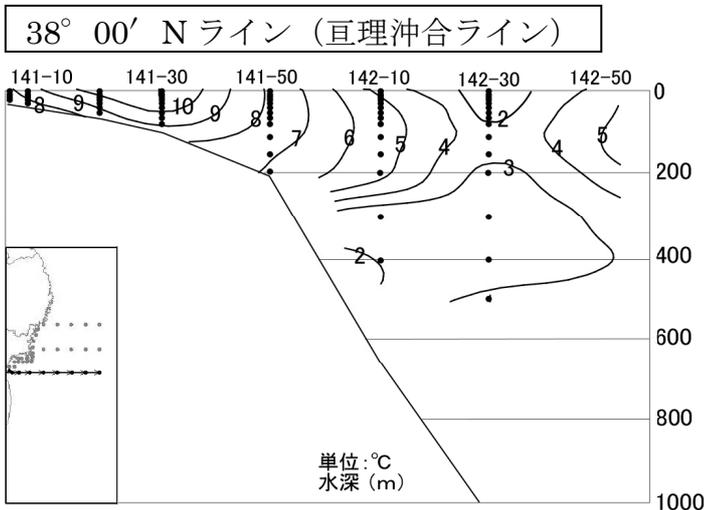
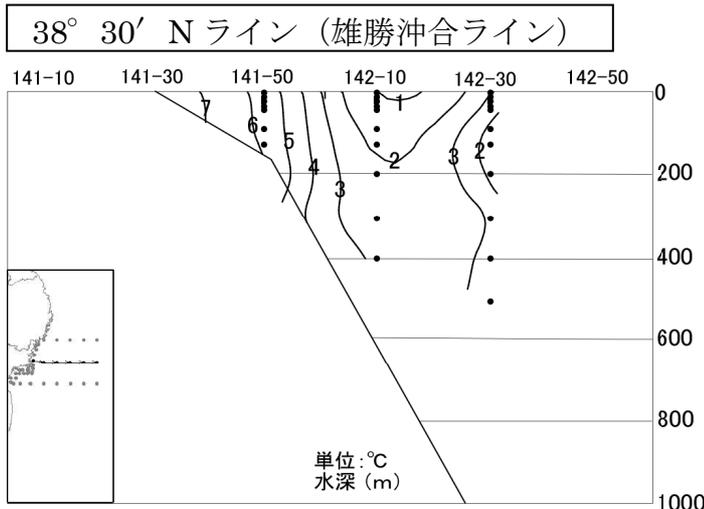
・水温水平分布図

・水温平年偏差図(現在水温と平年水温との差)

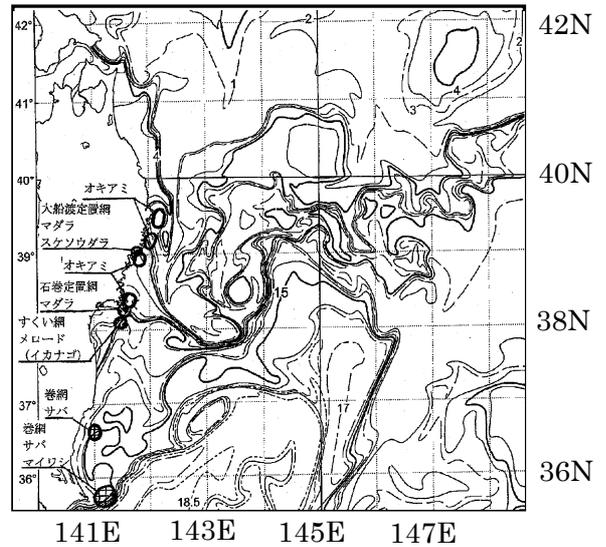


※観測は拓洋丸と翠皓(東北大学から借用)が実施しました。

・水温鉛直断面図



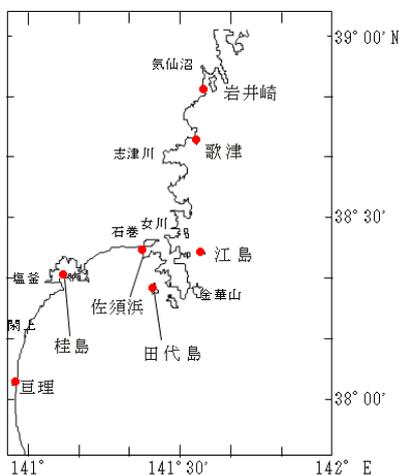
2013年3月9日の東北海域の海況(表面水温)  
(社) 漁業情報サービスセンター



**特記事項 (社) 漁業情報サービスセンター**  
**(3月9日表面水温)**

- ・黒潮続流は犬吠崎沖東 30 海里を北東に進み、分岐した暖水が仙台湾沖まで北上。
- ・親潮第 1 分枝は 142° 30' E 付近を南下し先端は常磐沖まで到達。
- ・宮古～釜石沿岸には 3～4℃の冷水が接岸。
- ・釜石～金華山～仙台湾の沿岸に 5～7℃の冷水が差し込み、常磐～鹿島灘では距岸 15 海里の沿岸部を 8～12℃大の冷水が南下。
- ・下北～三陸は 3～6℃台。南三陸～仙台湾は 6～7 台。常磐～鹿島灘～房総沿岸は 8～12℃台。

・定地海洋観測



観測点	3月上旬		平年差	前年差
岩井崎	7.0℃	平年並み	+0.3℃	+2.3℃
江島	7.7℃	平年並み	+0.5℃	+2.5℃
佐須浜	6.3℃	平年並み	-0.3℃	+0.4℃
桂島	5.2℃	-	-	-0.2℃
亶理	7.4℃	-	-	-

※歌津と田代島は自動観測装置による観測を中断しています。  
 ※平年差 岩井崎、江島 (30年)  
 佐須浜 (10年)  
 桂島 (平成24年2月から観測開始)  
 亶理 (平成24年10月から観測開始)

※定地海洋観測結果は、

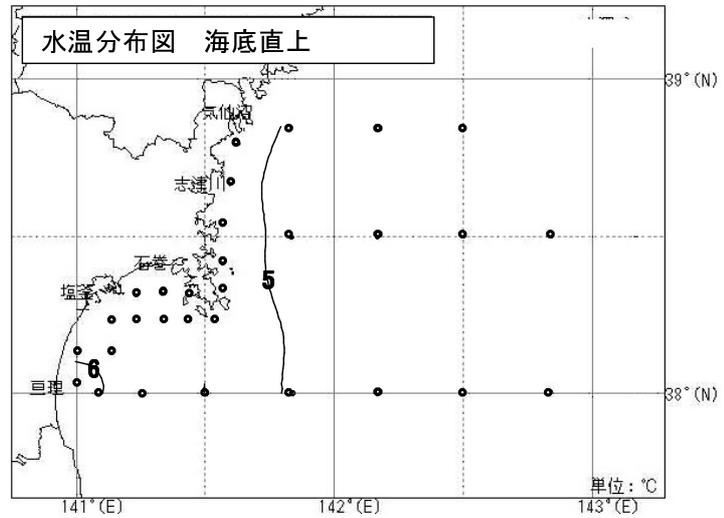
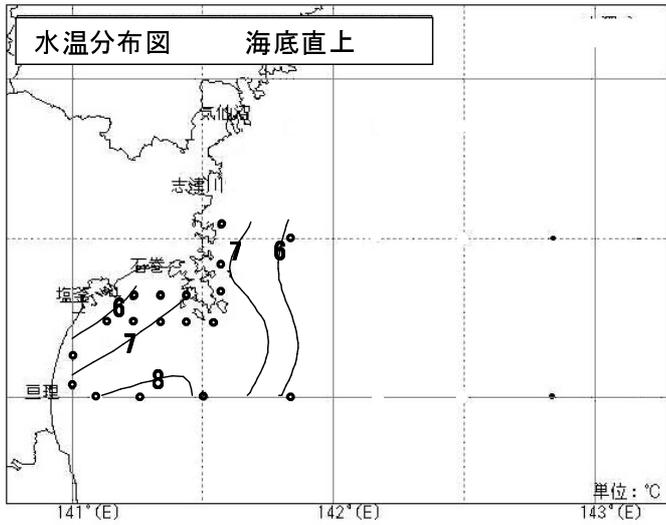
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/kaivou/201303suion-index.html>

でも公開中です。

## ・海底直上水温図

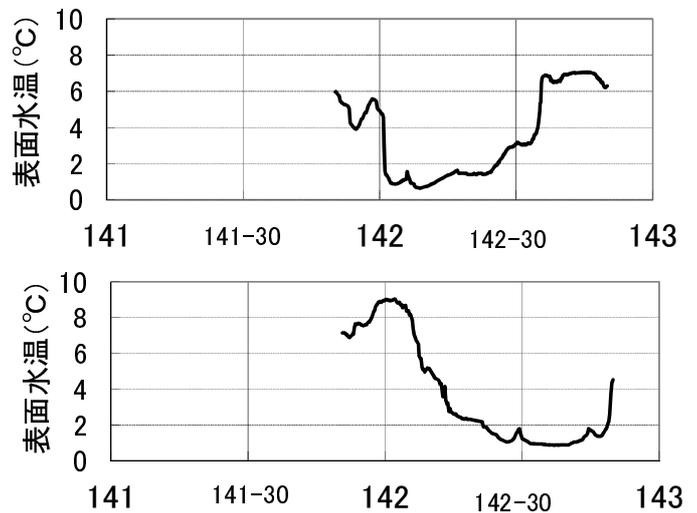
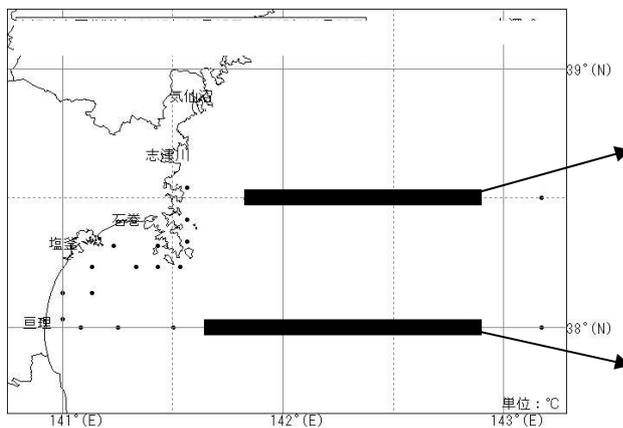
海底直上水温(2013年2月27日～3月12日)

前年同期海底直上水温(2012年3月7日～9日)



## 2. 表層水温情報

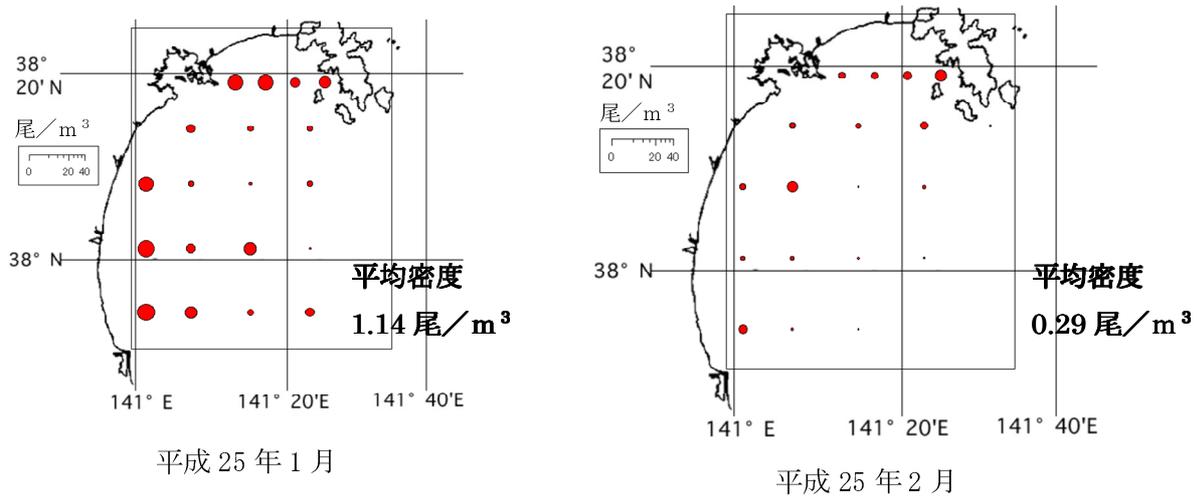
拓洋丸に搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記のとおりです。



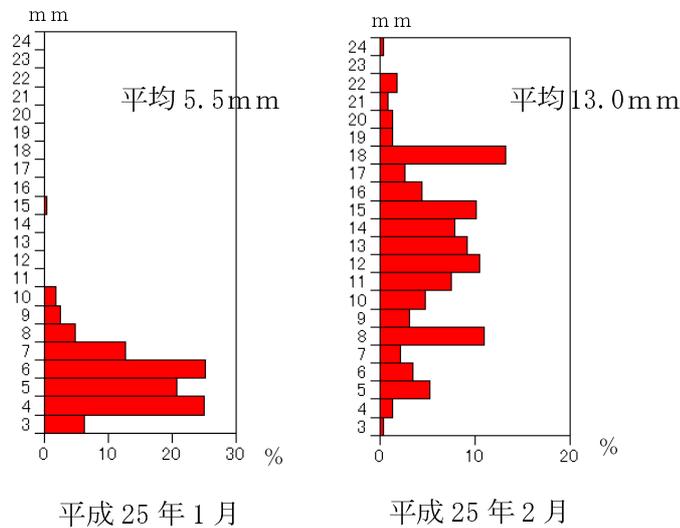
### 3. コウナゴ漁期前調査情報

平成 25 年 2 月 21 日～27 日にボンゴネットの中層曳きにより実施したコウナゴ分布状況についてお知らせします。2 月下旬の仙台湾のコウナゴ分布状況は、0.29 尾/m<sup>3</sup>でした。前月の 1 月 23 日～31 日に実施した調査の分布密度は、1.14 尾/m<sup>3</sup>で、過去 10 年の平均値 (4.85 尾/m<sup>3</sup>) と比較して低水準でしたが、2 月調査でも新たなコウナゴの加入はあまりみられず、低水準のままとなっています。

一方、体長は平均 13mm となっており、先月 (平均 5.5mm) よりも 2 倍以上の大きさに成長しています。次回のコウナゴ分布調査は 3 月 18～21 日にかけて実施する予定です。



コウナゴ分布密度



コウナゴ体長組成

### 4. 調査船運航計画

拓 洋 丸	
3 月 18 日 ~ 21 日	イカナゴ仔魚調査